

KIFA Report

河内長野市国際交流協会



Vol. 117
Nov. 2021

- 世界の国旗・国歌コンサート
- 夏休み子ども絵画教室
- 世界とつながろう!

- 多文化の部屋 ～ベトナム編～
- 長野高校 探求授業 ～グローバル～
- 世界の文化ごった煮 2021 予告
- インフォメーション



国旗の第一人者 吹浦忠正氏と

世界の国家を原語で歌うソプラノの歌姫 新藤昌子氏

をお迎えして・・・



世界の国旗・国歌コンサート

2021年8月29日(日)
キックス イベントホール

コロナ禍で伸び伸びになっていた吹浦忠正氏による世界の国旗の講演は、世界的なオペラ歌手である新藤昌子氏も加わり、「世界の国旗・国歌コンサート」として開催されました。

吹浦忠正氏は、オリンピックでは、「東京 1964」「札幌 1972」「長野 1998」での国旗や儀典に関われ、「東京 2020」では組織委国際局アドバイザーとして国旗の分野で活躍されました。NHK の大河ドラマ「いだてん」では、国旗考証を担当された国旗のオーソリティです。歌姫の新藤昌子氏とのタッグで、小中学校への出前授業を行っているほか、全国各地で国旗・国歌の講演を行ってられます。

講演は、東京五輪 2020 の国旗の発注から、会場、選手村での飾りつけにも関われ、開会式、閉会式にも参加された吹浦氏ならではのお話から始まりました。国旗を掲げて選手団の入場順は、先頭がオリンピック発祥の地であるギリシャ、最後が開催国である日本でした。その他の国々の入場順は、開催国に一任され、今回は「あいうえお」順での入場となりました。ここでクイズが出ました。イギリスはという国名での入場順になったでしょうか？ イギリス？ UK？ イングランド？？ なんと日本語の「英国」の入場順だったそうです。テレビで中継を見ていましたが、気づきませんでした。

ということで、国旗のお話はイギリス国旗（ユニオンジャック）から始まりました。この国旗は、英国では地下鉄やパブなど、いたるところで見受けられる国旗ですが、非常に上下の間違い

が起こりやすい国旗だそうです。国内ならともかく、外国で掲揚のときに上下さかさまなんてことになったら、国際問題にも発展しかねませんね。国旗の紹介に引き続いては、新藤氏による、言語でのその国の国歌の歌声が響き渡ります。

各国の国旗の歴史や変遷の興味深いお話が続きます。フランス国旗は、海上と陸上で掲揚される時では、旗が違うお話。ドイツの東西分断、統一による国旗の変遷。銀座で一番沢山掲げられているイタリア国旗の三色旗はナポレオンが制定したなど・・・最後に KIFA 会長、柴理梨亜氏の挨拶のあと、新藤氏と二人で、柴氏の母国であるアルゼンチンの国歌を歌っていただきました。中南米の国歌は前奏が非常に長いものが多いということでしたが、確かに長かったです。そのため、国際試合などでアルゼンチン国歌が流れるとき、選手は歌っていないじゃないか、という声があがることもあるそうです。しかしながら、演奏されるのは時間の関係で前奏だけの事が多く、選手は歌うに歌えないというわけです。前奏のあと、スタンドでは観客が国歌を歌い続けるというもある光景だとか。



正しい英国国旗はどちら？



<http://kokkiken.or.jp/archives/256>





講演の最後に、全員で国歌「君が代」を歌いました。歌詞は平安時代の「古今和歌集」読み人知らずの和歌に由来し、世界最古だそうです。歌うときには、「さざれ」で切らずに「さざれ石の」まで続けて歌わないといけないことをお聞きして、会場の全員が起立して久しぶりの国歌斉唱となりました。改めて「君が代」の美しいメロディーと歌詞を味わいながら歌ったひとときでした。

緊急事態宣言のさなかということもあり、国旗好きの子どもたちの参加が少なかったのが少し残念でしたが、楽しい講演と歌声でした。



起立しての君が代斉唱



講演前日 28 日には観心寺を散策

■新藤さんからメールが届きました

東京もすっかり秋めいてまいりました。

その後お変わりなくお過ごしでしょうか。

過日、8/29 に開催された国旗・国歌講座におきましては、大変お世話になりました。

東京でのコロナ禍の喧騒を忘れる程、のどかな、歴史ある貴市を訪問できましたことは大変思い出深く、また KIFA の各位より、ご歓待いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

ホームタウンである東京都調布市にて、国際交流協会（CIFA）の理事を務めており、市役所の生活・文化・スポーツ部生涯学習課の部長、課長、教育委員会の教育部長らと、コンテンツの相談を受けております。

調布市内や近隣に電気通信大、東京外語大等、大学も多く、留学生への日本語教室等が平素の活動のメインですが、多彩な交流イベントもプログラムされています。



講演日午前中には天野山金剛寺を散策

KIFA の皆さま方の取り組み等、資料を頂戴しましたので、こちらでも共有したいと存じます。

残暑厳しき中、2 日に渡りお心づくしいいただきましたこと、深謝申し上げます。

このご縁を大切に、引き続きよろしくお願い申し上げます。

時節柄、またコロナ禍、皆さまお身体ご自愛の程を。

KIFA の益々のご発展を祈念申し上げます。

遅くなりましたが、お礼かたがた・・・ 再会を楽しみに！

「君が代」トリビア：

初代「君が代」を作曲したのは、1868 年から 10 年間日本に滞在した英軍楽隊長ジョン・ウィリアム・フェントン。薩摩琵琶の古曲「蓬莱山」を採譜して 1 音節を 2 分音符にし、16 小節の「君が代」を完成させたものの、日本人の耳には違和感があり、いろいろな経緯を経て、フェントンの弟子、宮内省伶人、奥好義（おくよしいさ）が現在のメロディを作曲し、私たちの耳に馴染んだ 2 代目「君が代」が完成されたそうです。

出典：「オリンピックでよく見るよく聴く 国旗と国歌」 吹浦忠正・新藤晶子 著

「宇宙をかこう！ 始まりはビッグバン！」



2021年8月8日（日）キックス 創作工房

2020年に続き、またしてもコロナ禍での開催になった絵画教室ですが、申込みにもキャンセル待ちが出るほどの人気でした。手指消毒と検温を済ませた子どもたちは、各テーブルに分かれて待ちます。

はじめに、カーメル市交流活動事業部が、河内長野市の姉妹都市、アメリカインディアナ州カーメル市についてのスライドを発表しました。今年は、カーメル市にあるのと同じ彫像が、実は大阪市の鞠公園にもあるということが紹介されました。また、これから作る作品が飾られることになるギネスブック公認の「世界で一番小さな子ども美術館」も紹介されました。

指導していただくのは、アートコミュニティの船本先生ご夫妻です。今年のテーマは「宇宙をかこう！始まりはビッグバン！」なんとも壮大なテーマです。宇宙というと、漆黒の空間に浮かぶ大小様々な星といった様子を大人はイメージしそうですが、先生が準備されたのはカラフルな淡いパステルカラーに塗られた画用紙です。さらに今回は毛先が平たく扇型に広がった扇状筆をつかうことになりました。筆に絵の具をつけて、立てて画用紙の上を滑らせると、隙間の空いた帯のような線が描けます。宇宙空間を描いていく感じです。ドライヤーで乾かしたあと、次に宇宙にあるものを、クレパスで自由に各自が描いていきます。すると、宇宙船、宇宙飛行士、ロケット、宇宙人、地球、土星、なぜかお魚や本に自動車？が出現！自由な発想に大人は

かないません。次は先程の筆に絵の具をつけて、絵の上で振ります。すると筆から飛ばされた絵の具は小さな点々になって画用紙の上で踊ります。色々な色を次々と振っていくと、宇宙空間の星のように見えてきました。密集した星団のようになっている部分や、星がまばらにあるところなど、絵に様々な表情が見えてきます。最後の仕上げに、水彩絵の具をチューブから直接、画用紙に線を描くように塗っていきます。流れ星なのか、宇宙の光線なのか、不思議な雰囲気が醸し出されました。チューブから直接、というのは、普段学校などではやらないので、子どもたちはこの大胆な技法に楽しんで取り組んでいるようでした。猛暑の中、途中休憩をはさみながら、終了時刻には様々な「宇宙」が完成しました。

KIFAでは、絵画教室の参加者には、作品を小さくプリントしたものをフレームに入れて差し上げています。毎年そうですが、フレームに入れた作品は本当に部屋に飾りたくなるような素晴らしい出来上がりです。



たあと、次に宇宙にあるものを、クレパスで自由に各自が描いていきます。すると、宇宙船、宇宙飛行士、ロケット、宇宙人、地球、土星、なぜかお魚や本に自動車？が出現！自由な発想に大人は



2021年8月22日（日） キックス 大会議室



「世界とつながろう！」は、色々な国のゲストを講師に迎え、各国の言葉、遊び、料理、生活について、子どもたちが学ぶ疑似海外旅行です。

今年はコロナの影響もあり、外に出づらい夏休みでしたが、17名の小学生の皆さんが参加してくれました。訪問する国と、講師は次のとおりです。

- ・パキスタン：アッタ・スームロさん
- ・フィリピン：鉄本ネリーさん
- ・ペルー：徳永リタさん
- ・インドネシア：ラリータ・アヌバワストゥティさん
- ・中国：劉麗（リュウ・レイ）さん

定刻になり、まずは検温。全員パスして、KIFA特製の赤い表紙のパスポートが手渡されます。自分の字でサインして、写真を撮ってパスポートに貼り付けて完成。

5つのグループに分かれ、各国のブースを訪問します。引率は日本人のリーダーです。フライト時間0分、各国10分のショートスティですが、皆さん楽しそう。各国の紹介や、なかなか学校では習わない面白い話を聞き、それぞれの国の言葉で、「こんにちは」、「ありがとう」、「さようなら」を覚えてもらいました。リピーターのお子さんもいて、お目当ての先生の話を楽しそうに聞いていました。会場には、インドネシアの楽器の音が流れ、用意していただいた民族衣装を羽織る子たちも。この頃には、壁際で見守っていたパパやママも飛び入り参加。シャッター音が響きます。5か国のシールをパスポートに貼り付けて、楽しい小旅行が終わりました。そのあとは、全員でフィリピンのネリーさんによる英語でのゲームを楽しみ、最後に全員で記念撮影して夏休みの楽しい一日を過ごしました。

今回、KIFAとしてうれしかったのは、子どもたちの笑顔はもちろんですが、各グループのリーダーとして、若い3名の皆さん（香坂 歩さん、泰中 映里奈さん、天川 陽暉さん）が参加してくださったことです。若い人たちにも興味を持って、参加してもらえそうなKIFAになるよう、励んでいきたいと思います。



世界と
つながろう！



多文化の部屋

「ドクさんとの交流を通じて」

2021年10月23日(土) キックス 大会議室
ゲスト 内本 年昭さん
(河内長野市立東中学校 教頭)

当日大会議室には、ホームステイでベトナムの方を家に招いて以来、長きにわたってずっと交流を持ち続けておられるという方や、ベトナムの方に日本語を教えておられたという方など、ベトナムと様々な関わりや繋がりを持つという方も来られていました。今回のタイトルにあるドクさん、ことグエン・ドクさんは、ベトナム戦争で1961年から約10年間にわたって続いた枯葉剤作戦による被害によって、1981年に、兄のグエン・ベトさんと、下半身が結合する形でこの世に生を受けた結合双生児で、日本でも広くその名を知られることとなったベトナム人男性のことです。森の中に隠れているゲリラ部隊に苦戦をしたアメリカ軍が最終的に使用したのが枯葉剤だったのですが、その結果、ベトナムでは多くの木々が枯れ、森林は失われ、ベトちゃんドクちゃん以外にも、次々に結合双生児などの奇形児が産まれては、命を落としていったといえます。しかし、ベトちゃんドクちゃんが誕生した際、一人の助産師さんが、「この子たちはなんとしてでも生かしてあげないといけない」と仰ったそうです。当時は枯葉剤が人体に被害を及ぼすということがまだ知られておらず、同作戦を実行したアメリカ人でさえも上半身裸で散布を行っていたのだそうです。そういった点からも、実際の被害者はベトナムの方だけではなく、この内本氏のお話が、印象的でした。また、実際に日本は第二次世界大戦時、原爆によって降伏したことから、大阪や京都に枯葉剤を撒かれるという悲劇から免れたのだというお話にも衝撃を受けました。



内本氏は、ベトナムのホーチミン市にある「戦争証跡博物館」を来訪されたり、ベトさんドクさんと親交があり、「ベトちゃんドクちゃんの日本の母」と呼ばれる特別支援学校教諭であった榊蔵千恵子さんという方と偶然隣り合わせてお話をされたことなどをきっかけに、平和教育を行っていく決意を固め、ドクさんとの交流も深めて来られました。今は亡き榊蔵さんですが、生前、榊蔵さんは内本氏に「ドクちゃんは父親になるし一人の自立した人間として恩返ししないといけない」と仰っていたそうです。枯葉剤被害者から、今度は戦争の悲惨さと平和の大切さを世界へ伝えてゆく人へという、榊蔵さんの想いをしっかりと受け継がれたドクさんと内本氏によって、ベトナム語の「美しい世界のため」という歌が誕生しました。そのミュージックビデオには、内本氏が日本の子どもたちに呼びかけて作られた唄が、ベトナムの子どもたちによって、空高く元気いっぱいに揚げられている姿が映し出されています。そしてこの歌は日本人がベトナムの枯葉剤の被害者を思って作られた歌として、ベトナムで枯葉剤作戦を記憶する日(8月10日)には各地で歌われるほどになっています。



お話の終盤で、枯葉剤による被害を受けた子供たちや HIV 感染した子供たちを保護する寺院などへ、内本氏が来訪される姿がスライドに映し出されたのですが、そこには内本氏の活動に賛同し、同行を希望されたという、教え子の方の姿がありました。笑顔で子供を抱き、優しい眼差しで見つめるその姿に、干からびた大地の隙間を割り、力強く命がまた芽吹くかの如く、人の命もまた受け継がれ、想いもまた受け継がれていくのだな、と強く感じました。

●日本語サロン

日本語サロンは、日曜は10月17日から再開しています。
火曜と木曜は、11月からの予定ですが、来る前にKIFAで確かめてください。
来るときには、必ずマスクをつけてください。



●語学クラブ スケジュール

コース		英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (中級)	中国語 (入門)
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	10:00~11:30
開講日	11月	13	9・30	2・16	5・19	10・17
	12月	11	14	7・21	3・17	1・15
	1月	8	11・25	18	7・21	5・19

■世界の文化ごった煮2021 ～World Cultural Potluck～

グローバルな時代、コロナに負けず、
ローカルに国際交流!!

昨年度、コロナ禍のため開催できなかったごった煮を、今年は、コロナウィルスの感染について、正しく理解し、できる限り万全の対策を取りつつ開催いたします。感染防止策のひとつとして、今年は各国のブースでの食べ物の販売は行いません。(パッケージに入った食品の販売は予定しています。)また、接触感染の予防として、毎回人気の民族衣装の貸し出しも行いませんのでご了承ください。



ステージでのパフォーマンス、雑貨の展示・販売やワークショップなどは、例年通り楽しんでいただけます。密を避けるため、キックス全館を使用して開催いたします。スタンプラリーをしながら、楽しい時間を過ごしましょう。

●と き：12月5日(日) 12:00～16:00
●ところ：キックス (市民交流センター) 全館

<ステージ出演(予定)>
フローレス・デュオ(ペルー)
ダンスパワーズ
長野高校和太鼓
フラダンス



<ホワイエでの販売・展示>
KIFAフリマ、プチポケット、
KIFA日本語サロン紹介、
KIFA語学クラブ紹介

<その他>
ハートグローバル紹介、姉妹都市
子ども絵画展、JICA 展示(世界の
レシピ、世界の民族衣装)

<ブース出店国・団体 etc.>

カナダ、インドネシア、オーストラリア、スイス、東ティモール、
アメリカ(ハワイ)、ベトナム、南天苑

<ワークショップ>

勾玉づくり、しおり作り、消しゴムはんこグッズ、絵写経、etc.

■バザー出品物 募集中!

「世界の文化ごった煮 2021」のフリマで販売する物品を募集しています。お家で眠っている不要なものはありませんか? KIFA 事務局までお持ちよりください。なお、古着や生鮮食品はお受けできません。



事前に、事務局にご確認いただくことをおすすめします。お持ち寄り頂く日時を 事務局と調整してください。

お持ち込み締め切り：2021 年 11 月 30 日 午後 5 時

■日本の伝統文化

～琴と三味線～

令和 3 年度 三日市公民館主催事業 「公民館で体験する」

◎当協会会員、菊伊祇京子さん
が演奏されます。



●と き：11月27日(土) 14:00～16:00

●ところ：三日市公民館 2 階 会議室 3・4

●対 象：市内在住・在学・在勤の方

●参加費：無料

●持ち物：琴の爪(あれば)

●定 員：10 名(先着)

●申込み：三日市公民館で受付中(電話可) 0721-62-6155

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用と検温へのご協力をお願いいたします。

Happy
New
Year!

～年末年始休業のお知らせ～

12月26日～1月3日は
事務局はお休みとさせて
いただきます。

コース	スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00～20:30	13:00～14:30	10:40～12:10	15:00～16:30
開講日	11月	5・19	10・24	10・24
	12月	3・17	8・22	8・22
	1月	7・21	12・26	12・26

■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス) 3 階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp

GLOBAL + LOCAL = GLOCAL

グローバル + ローカル = グローカル

2021 年 7 月 15 日 (木)
キックス 大会議室



ゲスト:板東可奈子さん

のことももっと知ろうということで、KIFA を訪ねました。

河内長野市には、定住されている方、技能実習生として在住されている方など沢山の外国人の方々がいます。KIFA の事務局長として、13 年間活躍された板東可奈子氏を講師に迎え、KIFA とは？から始まり、多文化共生の実現を目指して行っている種々の活動についてお話をいただきました。

KIFA では外国人と一緒に楽しめる色々なイベントも開催しています。その中でも特に力を入れているのが最近各地で起こっている各種災害への対応です。日本語が堪能でない外国人にとって、災害が発生した場合、どう対応していいかわからず非常に不安です。KIFA で行っている活動の一つである「助け合い広場」では、外国人のための防災活動として災害が発生した時を想定した模擬対応活動を市民と一緒にしています。

また、KIFA では、河内長野市からの要請で、「避難所多言語資料ボックス」と呼ばれる箱の準備をお手伝いし、公民館などの避難所になる場所に配備していただいております。そのお話もされました。この箱の中には「指差しカード」と呼ばれる簡単なイラスト

と指示が書かれたボードが入っていて、これを提示することにより、災害発生時に日本語を理解できない外国人

でも、どう行動すれば良いかわかるようになっています。他にも白紙の紙、マジックペン、ホイッスルなども収められています。ただ、こういうものが準備されているということを日本人が知らないとい宝の持ち腐れになってしまいます。そういう意味で、河内長野にゆかりのある若い方々にその存在を知っていただけたということは、非常に有意義なことであったと思います。



皆様 はじめまして。3 月に入会して 7 月から広報のお手伝いをするようになった Gyohji (ぎょうじ) と申します。

私が、生まれ故郷である河内長野の KIFA と関わらせて頂けるきっかけとなったある出来事と、一つの幸運な偶然について、書かせて頂きます。2021 年 2 月から今もお続いているクーデターにより、国内の情勢が内戦にまで発展し、国民が困窮を極めている東南アジアの国、ミャンマー (ビルマ)。ある日、フェイスブックで民主主義を求め必死に抗議活動を行う若者たちの姿を目にした私は、その姿が、自身がボランティアで行っていた、日本語教師時代に会ったアジアの若者達の姿と重なって見え、「これはなんとかしなければならぬ。」と感じました。そして、KIFA を通じ、世界平和のため、自分にも何か出来ることがあるかもしれないと感じ、夏のある日、KIFA の門を叩きました。そしてそこで、偶然にも再会を果たしたのが、4 月に KIFA の新事務局長として就任されたばかりでいらっしゃった、山本事務局長！山本事務局長は、約 30 年も前ですが、私が小学生時代に通っていた市内の某塾の、当時の塾長先生でいらっしゃったのです・・・！何か運命的なものが導いてくれたのでは!?などと、胸がジーンと熱くなったのを覚えています。KIFA の活動を通じ、国籍やバックグラウンドを越え、他の人を理解し、受け入れ、一緒に力を合わせて生きていけるような自分になり、河内長野市にも貢献して参りたいです。

Gyohji

<http://www.kifa-web.jp/>



編

集

後

記

無料
メールマガジン
配信中！

KIFA の楽しいイベントや情報を
いち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFA
ホームページから